

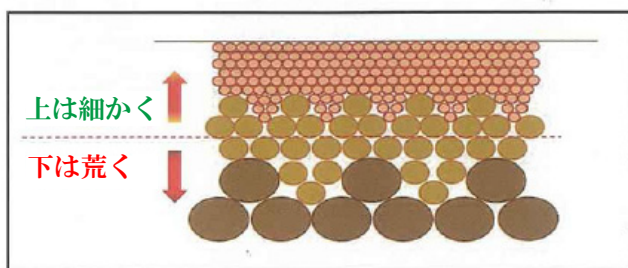
# 農機具センターからのお知らせ

知って得する

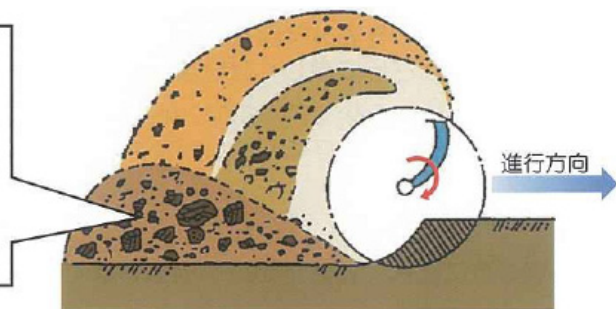
## 爪のおはなし

### (1) 耕うんの目的 ～より良い土づくりのために～

良い土とは、作物がしっかりと根を張り、必要な水分や養分をたっぷりと吸収できるような土を言います。良い土をつくるためには、表層は細かく、中～下層に向かって次第に大きな土塊（団粒構造）となるよう、しっかりと深く耕すことが重要です。



団粒構造モデル

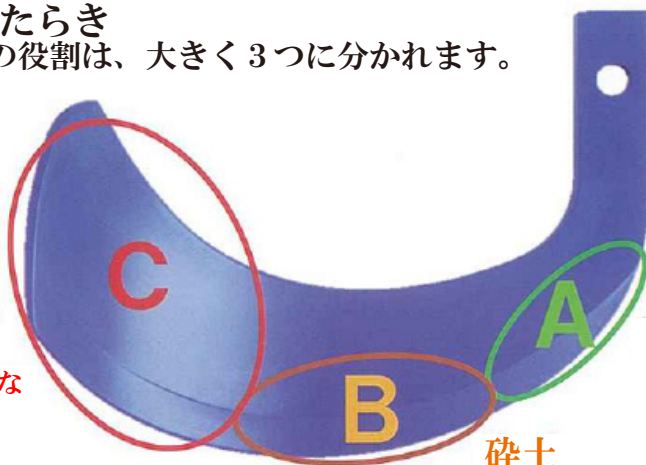


ロータリ耕うんによる土の飛散モデル

### (2) 耕うん爪のはたらき

耕うん爪の刃体の役割は、大きく3つに分かれます。

**反転  
すき込み**  
Bで切り取られた土の塊を上下にひっくり返したり土を細かくする。耕うんの最も重要な役割を果たす。



**巻きつき防止**  
草や生ワラの巻きつきを防止する。

**砕土**

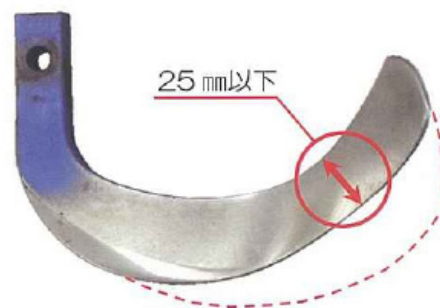
長い刃によって土に喰い込み、土を切り取り、土の塊を作る。同時に、草やワラを切るはたらきもある

### (3) 耕うん爪の耐久性（交換の目安）

耕うん爪の耐久性は、圃場環境・作業条件・作業時の天候などに左右され、同じ圃場でも、耕うん作業条件によって耐久性が異なってきます。

爪の最も磨耗している部分の幅が25mm以下になると交換時期です。

磨耗した爪では土づくりの効果は期待できません。より良い土づくりのために、早めの交換をおすすめします。



新しい爪と磨耗爪との耕うん性能比較

磨耗した耕うん爪は・・・

- わらのすき込みが悪くなります
- 土の反転が悪くなります
- 砕土性が悪くなります
- 耕深が浅くなります

